

科 目 名 称	韓国語 II					ビジネス・キャリア (○) オフィス情報 (○)		
英 文 科 目 名 称	Korean Language II					グローバル・コミュニケーション (○) 医療事務・医療秘書 (○)		
科 目 コ ー ド	531338	授業形態	講義	単位数	2	ホテル・観光 (○) 大学編入 (○)		
教 員 氏 名	章 大寧	年次配当	2 年次	後期				
実務経験教員担当	有	・ 無	アクティブラーニング	(有)	・ 無			
授 業 概 要 及 び 授 業 方 法	<p>韓国語 II では、前期の学習成果(ハングルの読み書き)をもとに、基礎会話・基本表現を身につけることを目標とする。必要性・理解度・進行状況に応じて、関連の基礎単語、文法的事項、多様な表現方法等を学習する。</p> <p>講義はテキストに沿って進める。主要な表現方法について会話本文の内容説明、読み書き、関連事項・基礎単語の説明・読み書き、会話練習、宿題・課題テストなどを行う。</p> <p>授業効果を高めるためパワーポイントの利用、資料配布、ペアワーク、ロールプレイ、グループコミュニケーションなどを併用する。また教員と受講生との自由な質疑応答・双方向授業を重視する。</p>							
関 連 す る 科 目	韓国語 I				卒業認定(学習成果)との関連	(①, ④)		
授 業 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 講義方針・前期の復習 する・いる・ヨ体表現 (第6課、テキストp70-75) 動詞・形容詞の表現 (第7課、テキストp76-81) 動詞・形容詞・ヨ体表現 (第8課、テキストp82-89) 漢数詞 (第9課、テキストp90-97) 固有数詞 (第10課、テキストp98-105) 敬語表現 (第11課、テキストp106-111) 動詞・形容詞の否定形 (第12課、テキストp112-117) 過去形 (第13課、テキストp118-125) 勧誘表現 (第14課、テキストp126-133) 現在進行形 (第15課、テキストp134-139) 可能・不可能 (第16課、テキストp140-147) 願望・禁止 (第17課・第18課、テキストp148-159) 義務・意志 (第19課・第20課、テキストp160-171) 総合復習 							
授 業 時 間 外 の 学 し た い	<p>講義内容・テキストに沿って予習と復習を徹底する。(週60分程度)</p> <p>講義中に出された宿題について調査し、レポートを提出する。(週60分程度)</p> <p>韓国の歴史・文化に関心を持ち、情報を収集し、知識を深める。(週60分程度)</p>							
授 業 の 到 達 目 標	<p>基礎会話の習得・読み書き・文法事項について理解する。</p> <p>韓国語の基本表現・基礎単語を習得し、読み書きができる。</p> <p>韓国の歴史・文化への関心と理解を持ち、主体的なコミュニケーション行動ができる。</p>							
課 題 に 対 す る フィードバック	宿題やレポート提出等は、事前・事後とも十分に説明し、受講生との意思疎通を図る。疑問・質問に丁寧に対応する。			評価方法・基準	文字の理解度・読み書き 50% 文章の理解度・基本表現 50%			
テ キ ス ト	木内明「基礎から学ぶ韓国語講座」、初級、改訂版、CD付き、国書刊行会。							
参 考 書	木内明「基礎から学ぶ韓国語講座」、中級、改訂版、CD付き、国書刊行会。 ハン・コーワン「絵で見る韓国語」、IBCパブリッシング株式会社。							
備 考	韓国語講義は、I 前期と II 後期は別々ではなく、前期と後期の1年間で完成するように構成されている。前期と後期を通して受講すること。Iを受講し、その合格者に限り、IIの受講を認める。後期だけの受講、または後期からの受講は原則認めない。受講状況によってキャンパスごとに合併授業をすることがある。							